

受賞技術	リアルタイム自動配筋検査システム
技術開発者	有田 真一
	
受賞にあたって	
<p>           栄誉ある国土技術開発賞入賞を賜り、大変光栄に存じます。本受賞は、技術開発や実証試験に係わった全ての関係者のご協力の賜物であると考えております。この場を借りて御礼申し上げます。         </p> <p>           配筋検査は、コンクリート構造物の品質保証において重要な品質管理業務の一つであり、人員や多くの手間と時間を要しており、そのような課題をカメラ画像処理を用いて解決できないかとの想いで開発に取り組んで参りました。本技術により、従来では配筋に検査具を配置してスケールにより計測していた検査作業に対して、検査範囲を撮影するだけで自動的に配筋を計測して検査することが可能であり、検査作業を大幅に削減するとともに、取得したデジタルデータを管理業務に活用することができます。国土交通省の発注工事において、デジタル化された配筋検査システムが採用された初めての事例ともなり、配筋の品質管理業務に関する効率化技術の実用化として評価されたものと考えております。         </p>	
受賞後の動き	
<p>           今後、配筋検査業務へのデジタル機器適用に関する運用ルールの制定が進む中、現場に寄り添いながら改良を進め、多くの現場に展開することで、検査業務の効率化による現場の働き方改革に貢献していきたいと考えております。         </p>	